

2024 年度学修成果に関する調査について（総評）

2024 年度は昨年度と同様に Web でアンケートを実施した。

学科別の傾向では、各年度が上がるにつれほとんどの学科の能力の実感値が向上している。これは本学の教育が学生の能力の向上に寄与しているものと考えている。

特に 2024 年度 1 回生の【文章表現の能力】に関して、理系学科において「大きく増えた」や「増えた」と回答した学生が多く、数値が上昇している。これは初年次から「文章表現」を重視したカリキュラムなどの効果ではないかと考える。

また、本調査項目は、専門分野によらず学士課程で共通して身につけるべき知識・能力が設定されているが、学科によって結果に大きなばらつきが見られる。文系・理系といった根本的な違いがあるため、ある程度は仕方がないものの、【数理的な能力】や【外国語運用能力】については、他の項目に比べて数値が低い学科が多い傾向にある。

以上のような結果を踏まえ、「学修者本位の教育の実現」を図るという観点から、カリキュラムや授業内容・方法などについて、より積極的に改善を進めていく必要がある。